

平成 18 年 10 月 26 日



各 位

会 社 名 株式会社りそなホールディングス  
代表執行役社長 水田 廣行

コード番号 8308

上場取引所 東証・大証 各市場第 1 部

## 平成 19 年 3 月期 中間業績予想の修正について

当社は、平成 18 年 5 月 23 日の決算発表時に公表しました平成 19 年 3 月期の中間業績予想に関して、以下のとおり修正しますので、お知らせいたします。

記

### I. 中間業績予想の修正〔平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日〕

(単位:億円)	連結業績			単体業績		
	経常収益	経常利益	中間純利益	営業収益	経常利益	中間純利益
前回予想 ①	4,700	1,750	1,650	2,600	2,550	2,550
今回予想 ②	<b>5,500</b>	<b>2,000</b>	<b>4,500</b>	<b>2,600</b>	<b>2,550</b>	<b>2,850</b>
増減額 ②-①	+800	+250	+2,850	—	—	+300
増減率 (②-①)÷①	+17.0%	+14.2%	+172.7%	—	—	+11.7%

【参考】傘下銀行の中間期業績見込(詳細は決算発表時にお知らせいたします)

(単位:億円)	傘下銀行					
	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	りそな信託	合算(概算)	前回予想比
業務粗利益	2,240	715	330	140	<b>3,430</b>	▲70
経費(△)	1,070	330	190	50	<b>1,640</b>	▲130
実勢業務純益	1,170	385	140	90	<b>1,790</b>	+60
与信関連費用(△)	160	40	△10		<b>190</b>	▲10
経常利益	1,430	320	135	90	<b>1,980</b>	+265
税引“前”中間利益	1,540	345	150	90	<b>2,130</b>	+430
税引後中間純利益	(平成17年度より連結納税制度を採用しております)				<b>4,200</b>	+2,550

(注1) 実勢業務純益は、信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入前の業務純益

(注2) 与信関連費用は、信託勘定不良債権処理・一般貸倒引当金繰入額・臨時損益内不良債権処理額・特別利益内与信費用戻入額の合算

### II. 業績予想修正の理由

- ・当中間期の連結業績については、18 年 3 月期迄の所得見積り期間を見直すことに伴う繰延税金資産の計上(2,500 億円強)を主たる要因として、予想を上方修正するものであります。
- ・将来の所得見積り期間については、前期末の課税所得発生に加え、今後の収益見通し等に照らして、課税所得発生見積りに係る確実性等を総合的に判断し、概ね 5 年への見直しに至ったものであります。  
※ 今般計上する繰延税金資産は、平成 19 年度以降、順次縮減し、4～5 年の間に平成 18 年 3 月末と略同水準の残高になるものと、現時点では想定しております。
- ・また、単体業績については、連結納税制度のもと、子会社の将来課税所得を原資とした繰延税金資産の計上を主たる要因として、予想を修正するものであります。
- ・なお、中間期業績の詳細並びに通期の業績予想については、11 月 22 日に予定する中間決算発表時に改めて公表させていただきます。

以上

(注) 上記に記載した予想値については、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績については、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おください。